

## コンピュータチェック事例コード

48SJ991066604 その他 3事例グループ化

## コンピュータチェック内容

外来迅速検体検査加算を算定した日に行った検体検査の項目名に外来診療料に含まれる検査名の記載があり、当該加算の加算対象検査数を算定項目数が上回った場合にチェックを実施。

## コンピュータチェック根拠

外来迅速検体検査加算は、実施した対象検査の結果が当日中に全て説明等が行われた場合に、5項目を限度として、検体検査実施料の各項目の所定点数にそれぞれ加算するとされています。

## グラフの見方

- 棒グラフ(該当レセプトの審査結果)  
コンピュータチェックの対象となる診療行為(医薬品、特定器材)を算定している目視対象レセプト  
1万件当たり、当該コンピュータチェックの内容に該当したレセプト件数
- 折れ線グラフ(該当レセプトの査定・返戻割合)  
コンピュータチェックの対象となった項目が  
査定・返戻となった割合

【棒グラフ凡例】審査の結果

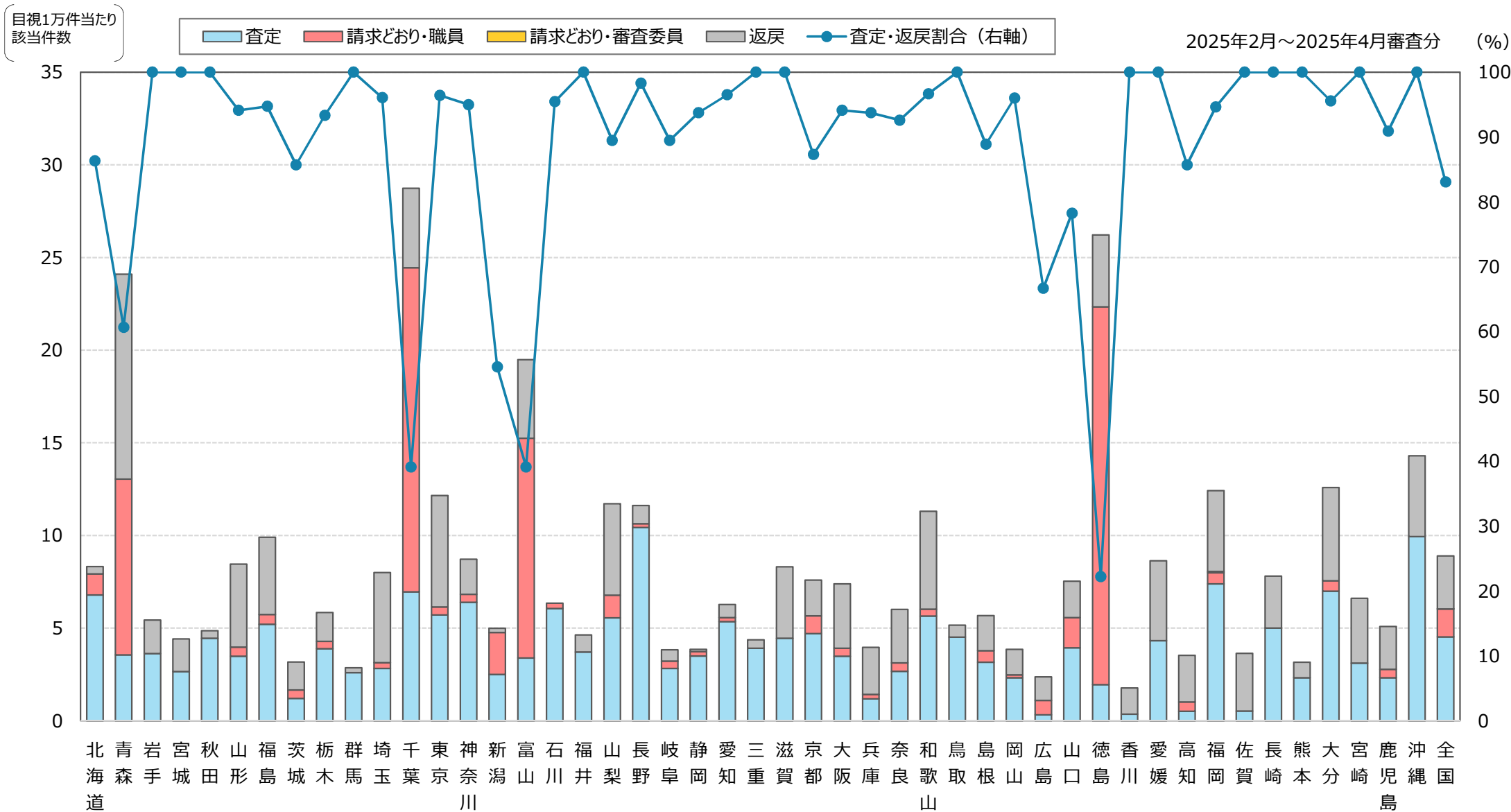
査定	返戻	: 設定根拠どおり
請求どおり 職員	請求どおり 審査委員	: 検証が必要

## 審査結果の概要

- 全国の査定・返戻割合 83.06%
- 検証対象都道府県 14

検証観点	都道府県	備考
査定・返戻割合が低い	徳島、富山、千葉、新潟、青森、広島、山口、茨城、高知、北海道、京都、島根、山梨、岐阜	査定・返戻割合の低い順
請求どおり・職員	徳島、千葉、富山、青森、新潟、山口、山梨、北海道、京都、広島、島根、高知、茨城、岐阜	対象1万件当たり件数の多い順
請求どおり・審査委員		//

該当件数(全国)	当該コンピュータチェックの内容に該当	2,958件
設定根拠どおりの審査	査定・返戻の計	2,457件
検証を必要とする審査	請求どおり	501件



【該当件数】 当該コンピュータチェックの内容に該当したレセプト件数